



# 愛と創造

山形市立第十中学校  
学校だより  
H28. 1.21 NO.10

## 学校評価アンケート結果から

校長 星 淳 一

12月に保護者対象のアンケートをお願いしました。ご協力いただき誠にありがとうございます。このアンケートは、今年度の学校経営の達成度合いを把握する方法として行ったものです。よりよい学校づくりを目指して、これから各校務部や学年部で詳しく検討し次年度に生かして参りたいと考えております。今回は結果の概要と現段階での考察をお知らせします。

＜保護者アンケート結果＞		（％）		
	質問項目	非常に満足	ほぼ満足	不満
1	生徒の学ぶ意欲が高まっている。	16.5	59.0	23.8
2	家庭学習の習慣が身についている。	21.8	50.5	27.3
3	あいさつや中学生としてふさわしい言葉遣いができている。	18.7	65.9	14.8
4	服装や生活のきまりを守って生活している。	48.4	48.4	2.9
5	部活動において、目標をもって意欲的に活動している。	46.3	41.9	8.8
6	犬川清掃や空き缶回収、各種募金活動等に積極的に参加している。	39.7	54.0	5.5
7	交通マナーを守り、安全に気をつけて登下校している。	53.7	43.6	2.4
8	体育祭について。	42.9	52.9	3.7
9	合唱コンクールについて。	47.1	48.9	3.8
10	各学年の行事について。1年宿泊学習 2年職場体験学習 3年修学旅行	46.7	49.5	2.7
11	通知表の様式や通知時期について。	31.5	63.9	4.0
12	行事や学校参観の案内について。	32.2	61.9	5.5
13	学校だより・学年通信・学級通信について。	35.7	59.2	4.8
14	保健だよりや「治療のすすめ」など健康に関するお知らせについて。	36.1	62.1	1.3
15	授業参観(年3回)や学校参観(壮行式、体育祭等)の時期や回数について。	34.1	62.8	2.7
16	学級懇談会やPTA活動など、PTA主催活動の内容・回数・時期などについて。	28.4	67.4	3.8
17	不登校やいじめに関する問題に対して対策をとっている。	28.9	64.3	5.5



\*なお、アンケートの未回答の部分もありますので、合計で 100 %にならないところがあります。

### ＜アンケートからの考察＞

上記の表で、今回とくに注目した部分について以下のように考えました。

項目1～3「学習意欲」「家庭学習習慣」「あいさつや言葉遣い」の満足度が他と比べて低いことが注目されます。このことについて詳しく見てみると、次のようなことが分かりました。

質問項目	1年→2年の変化			2年→3年の変化		
	非常に満足	ほぼ満足	不満	非常に満足	ほぼ満足	不満
1 生徒の学ぶ意欲が高まっている。	3.9	-1.6	-4.1	10.1	-2.0	-8.7
2 家庭学習の習慣が身についている。	1.7	1.2	-4.1	2.8	7.1	-9.9
3 あいさつや中学生としてふさわしい言葉遣いができている。	6.1	-2.7	-4.7	0.6	11.0	-11.1

この表は、現2年生が1年生の時の数値、現3年生が2年生の時の数値からの増減を示したものです。(未回答の%がありますので+-の計が0にはなりません) とくに現3年生の改善度合いが大きいのがわかります。これまで本校では「3年生を模範にした経営」を行ってきました。3年生の意識改革はもちろん、下級生にとって「3年生のようになりたい」という指標でもあります。その取り組みによって学校全体が現在良い方向にあるのは事実ですので、これからも継続して取り組んでいきたいと考えています。

項目5「部活動への意欲・取組」も、不満率が8.8%と高いことがわかります。学年別には、次の通りです。

質問項目	1年			2年			3年		
	非常に満足	ほぼ満足	不満	非常に満足	ほぼ満足	不満がある	非常に満足	ほぼ満足	不満
5 部活動において、目標をもって意欲的に活動している。	52.5	36.4	10.6	44.1	42.9	11.2	41.7	47.1	4.8

1年、2年生の満足度に課題があります。このことは物理的な制約が主要因と考えています。大会参加、活動場所、活動時間のことです。保護者にとって重要なことですが、これを解決することはなかなか困難です。しかし、様々な活動が窮屈になっているのは重要な問題ですから、来年度の教育課程を見直し、放課後の活動にゆとりをもたせる計画をしています。次の要因として、部活動の運営と部活動集団の問題が挙げられます。顧問の指導法改善はもちろんですが、それに加え保護者と外部指導者との一層の連携が不可欠です。部活動は顧問だけで運営できるものではありませんので、保護者や地域の指導者の協力が必要です。そこで、今年度から保護者代表者会だけでなく、コーチ会を創設しました。保護者・地域と連携しながら部活動の「目的と目標」を達成できる魅力ある活動にして参ります。

項目12～14については、行事予定や各種のお知らせはホームページにも掲載していますので、是非活用していただきたいと思えます。

項目17「不登校、いじめ対策」については、全学年とも下記のようにほぼ同様の結果でした。

質問項目	1年			2年			3年		
	非常に満足	ほぼ満足	不満	非常に満足	ほぼ満足	不満	非常に満足	ほぼ満足	不満
17 不登校やいじめに関する問題に対して対策をとっている。	27.8	65.2	6.6	26.1	67.1	5.0	32.6	61.0	4.8

「不登校・いじめ対策」は、絶無を期すべき課題ですが、本校では不登校、いじめともに認知件数は「0」ではありません。また、全てを解決しているわけでもありません。私達教職員の力量の向上はもちろん、今年重点にしてきた保護者、小学校、地域との連携に加え、関係機関とも連携を図りながら「安全で安心できる居心地の良い十中」にしていきます。

この他にも個々にご意見をいただいております。紙面には掲載いたしません、いずれも貴重なご意見でありますので、経営上の参考にさせていただきます。

「3学期は0学期」と言われます。1学期の準備ということです。今年の諸課題に対して、しっかりと対策を定め新年度に臨むつもりでありますので、今後ともよろしくご支援ご協力のほど、お願い申し上げます。